

令和 8 年度

仕 様 書

事業名： 防災・安全交付金事業

工事場所： 竹原市 下野町

工事名： 市道中通須方線道路改良工事 (R8)

工事概要： 延長 L=31.6m
現場打ち擁壁工 V=26m³
側溝工 L=21m
コンクリート舗装工 A=80m²
構造物撤去工 N=一式

【添付書類】
 特記仕様書
 工事数量総括表
 図面 等

特記仕様書（個別事項）

第1章 総則

第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、市道中通須方線道路改良工事（R8）に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・ **土木工事共通仕様書（令和7年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）**
 - ・ **特記仕様書（共通事項）（令和8年4月）広島県**※ 土木工事共通仕様書、特記仕様書（共通事項）は「広島県の調達情報」に掲載している。
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>

第2節 中間検査

本工事は、中間検査の対象工事とする。

第3節 週休2日適用工事

本工事は、週休2日適用工事（受注者希望型）であり、「竹原市週休2日適用工事等実施要領（令和7年6月1日一部改正）」に従うこと。
なお、工事着手までに「休日取得計画表」を記載した施工計画書を監督職員に提出するものとし、対象期間を明確にするため、工事着手日と工事完了日を計画表に明記するものとする

※竹原市週休2日適用工事等実施要領については、「竹原市の入札・契約」に掲載している。

第4節 建設副産物

本工事における建設副産物については、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（5の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。
※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

- (1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壌汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
- (2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項
ア 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。
イ 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
- (3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。

9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

- (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
- (2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
- (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
- (4) 建設発生土の搬出量
- (5) 建設発生土の搬出が完了した日

10 建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

11 受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

12 受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

13 建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する9(1)～(5)に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後5年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

- (1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
- (2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
- (3) ストックヤード運営事業者登録規定により国に登録されたストックヤード
- (4) 9の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

第2章 施工条件

第1節 工程

- 1 施工時期・時間の制限
- | | |
|---------|-------------------------------------|
| 施工内容 | 全工種 |
| 時期 | 全工事期間 |
| 施工方法・理由 | 搬入路が通学路であるため、登下校時間は工사용車両の通行を行わないこと。 |

- 2 関係機関との協議
- | | |
|------|--------------------------------|
| 協議内容 | 学校関係者と作業時間帯等工事全般について十分に調整すること。 |
|------|--------------------------------|

第2節 公害対策

- 1 公害防止
- | | |
|---------|---|
| 施工方法 | コンクリート破砕において、学校・民家に隣接しているため、低騒音型機械を使用するものとする。 |
| 建設機械・設備 | 低騒音型機械 |

第3節 安全対策

- 1 防護施設
- 工事期間中は施工箇所へ児童等、第三者が立ち入ることの無いよう、立入禁止措置を行うこと。

第4節 工用道路

- 1 進入路
- | | |
|------|---|
| 搬入経路 | 小学校入口での工事であり、学校関係車両の出入りがあるため、通行止めとならないよう施工すること。 |
|------|---|

第5節 建設副産物

- 1 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地）（指定処分（A））
- 当該工事により発生する建設発生土は、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地に搬出するものとする。

また、積算上の搬出先として、建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地のうち、運搬費と受入費の合計が最も経済的になる次の施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

搬出場所 有限会社エス・エス朝日山残土処理場（竹原市下野町字朝日山）

なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議の上、設計変更の対象とする。

- 2 As殻・Co殻（搬出）
- 当該工事により発生するAs殻・Co殻の処分先については、次の処分先条件を想定している。

Co殻（無筋）		Co殻（有筋）	
運搬距離	4.9 km	運搬距離	4.9 km
受入費用	1,500円/t	受入費用	1,800円/t

As殻	
運搬距離	4.9 km
受入費用	1,500円/t

- 3 木・根株（搬出）
- 当該工事により発生する木・根株の処分先については、次の処分先条件を想定している。

木		根株	
運搬距離	3.5 km	運搬距離	5.3 km
受入費用	3,500円/m ³	受入費用	8,000円/m ³

第3章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項又は、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員の指示を受けること。
中通小学校校門付近での工事となるため、児童及び学校関係者、学校関係車両の通路を確保し施工すること。
工事に先立ち、工程・工法について、学校関係者と十分に調整を行い、事前に工事概要等を記した案内文を作成し周知すること。
小学校授業中等、学校生活の妨げとなる時間帯は、構造物取壊し等の騒音や振動が発生する作業は行わないこと。

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
道路改良		式	1	レベル1
道路土工		式	1	レベル2
掘削工		式	1	レベル3
掘削	【土砂, 上記以外 (小規模), 押土無】 【障害無, 標準】	m3	150	レベル4
残土処理工		式	1	レベル3
擁壁工		式	1	レベル2
作業土工		式	1	レベル3
場所打擁壁工(構造物単位)		式	1	レベル3
重力式擁壁		m3	13	レベル4
重力式擁壁		m3	23	レベル4
排水構造物工		式	1	レベル2
作業土工		式	1	レベル3
側溝工		式	1	レベル3
プレキャストU型側溝	【B300】	m	7	レベル4
自由勾配側溝	【B300】	m	14	レベル4
側溝蓋	【B300】	枚	19	レベル4
1号管渠型側溝		m	7	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
集水桝・マンホール工		式	1	レベル3
プレキャスト集水桝	【5号集水桝】	箇所	1	レベル4
張りコンクリート工		式	1	レベル3
張りコンクリート	【18N, Co夜間割増無】	m2	1	レベル4
構造物撤去工		式	1	レベル2
防護柵撤去工		式	1	レベル3
防護柵(横断・転落防止柵)撤去		m	53	レベル4
作業土工		式	1	レベル3
構造物取壊し工		式	1	レベル3
コンクリート構造物取壊し	【コンクリート構造物, 機械施工】	m3	35	レベル4
舗装版切断	【アスファルト舗装版, 舗装厚3cm】	式	1	レベル4
舗装版破砕	【アスファルト舗装版, 舗装厚3cm】	m2	27	レベル4
運搬処理工		式	1	レベル3
殻運搬	【アスファルト殻, コンクリート殻】	m3	44	レベル4
殻処分	【Co殻, As殻】	m3	40	レベル4
舗装		式	1	レベル1
舗装工		式	1	レベル2
アスファルト舗装工		式	1	レベル3

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
下層路盤(車道・路肩部)	【再生クラッシュラン, RC-30, 仕上り厚100】	m2	133	レベル4
上層路盤(車道・路肩部)	【再生粒度調整砕石, RM-30, 仕上り厚100】	m2	133	レベル4
表層(車道・路肩部)	【再生密粒度アスコン, 20, 舗装厚50, 平均幅	m2	145	レベル4
コンクリート舗装工		式	1	レベル3
下層路盤(車道・路肩部)	【再生クラッシュラン, RC-30, 仕上り厚100	m2	80	レベル4
コンクリート舗装		m2	80	レベル4
防草コンクリート		m2	21	レベル4
直接工事費				
準備費				
準備費		式	1	レベル2
準備費		式	1	レベル3
木根等処分費		式	1	レベル4
共通仮設費率分				
共通仮設費計				
純工事費				
現場管理費				
工事原価				
一般管理費率分				

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
契約保証費					
一般管理費計					
工事価格					
消費税相当額					
工事費計					
契約保証費計					

位置図

188.5

東上条水源地

宮原
本川

上条

親耕橋

竹原上水源地
中通水源地

竹原病院

中

中通保育所

下賀茂神社

浄念寺

宮原

中通小学校

工事箇所

阿此比

竹原変電所

大王

本町四丁目

小田山

八幡神社

上成井橋

成井

竹原中学校

上新開

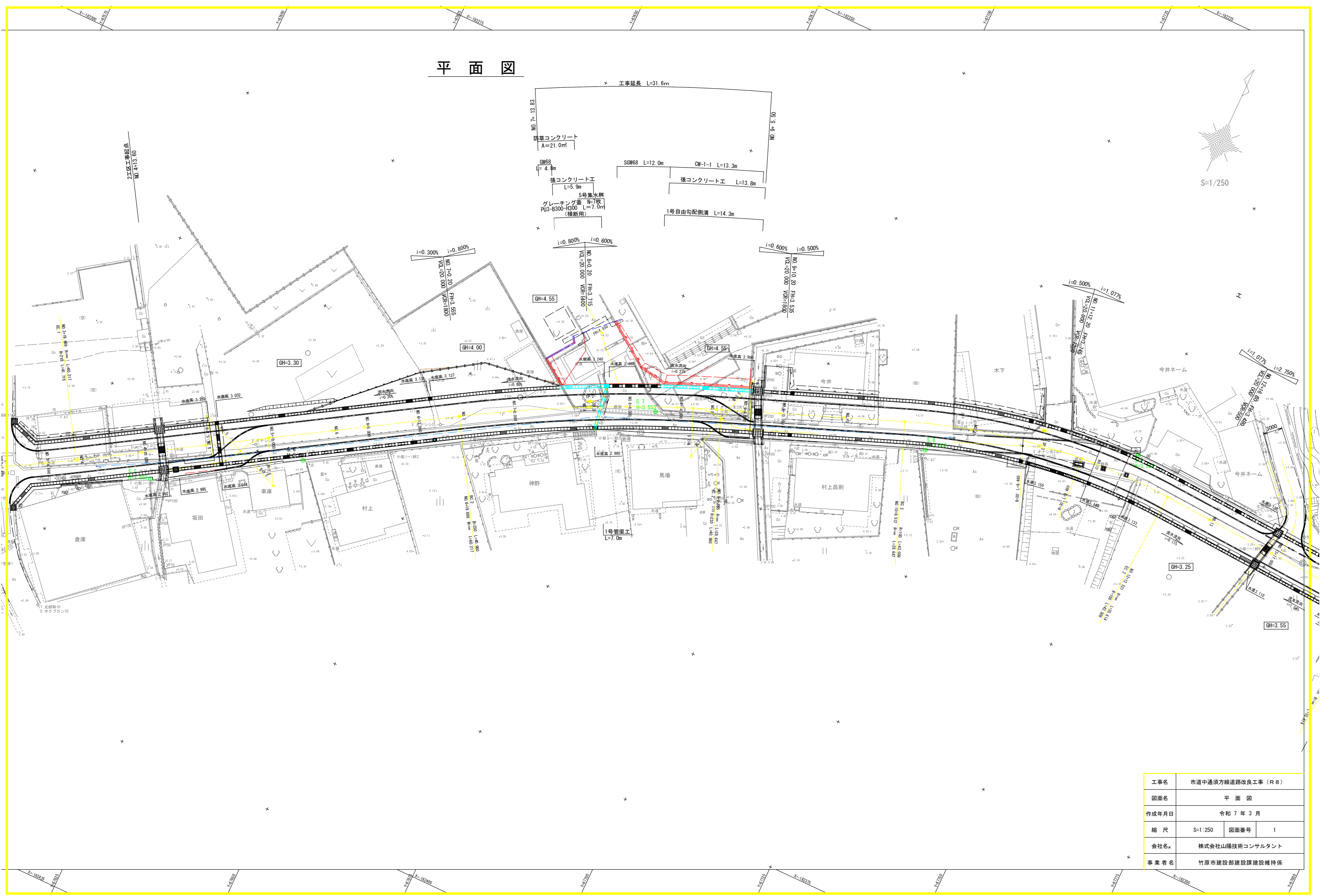
園

4.32

榎



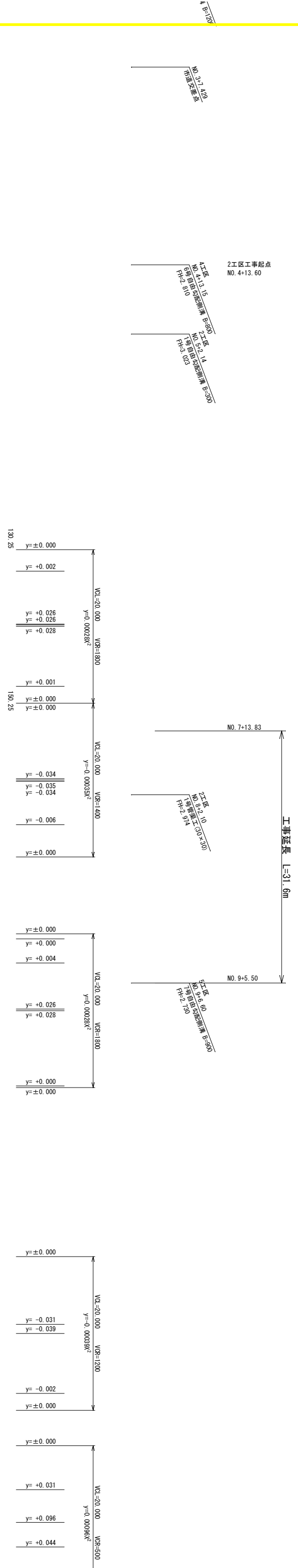
平面図



工事名	市道中通須方線道路改良工事 (R B)		
図面名	平面図		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	S=1:250	図面番号	1
会社名	株式会社山陽技術コンサルタント		
事業者名	竹原市建設部建設課建設維持係		

縦断面図

H=1:100
H=1:250



2工区工事起点
NO. 4+13.60

工事延長 L=31.6m

Stationing	Ground Elevation	Proposed Elevation	Grade (%)	Vertical Curve Data
NO. 3	60.000	4.11	3.796	
NO. 3+7.429	7.429	67.429	3.78	3.773
NO. 3+14.696	7.267	74.696	3.96	3.752
NO. 4	4.973	79.669	3.98	3.737
NO. 4+10.000	10.000	90.000	3.91	3.706
NO. 5	10.000	100.000	3.88	3.676
NO. 5+10.000	10.000	110.000	3.32	3.646
NO. 6	10.000	120.000	3.31	3.616
NO. 6+5.000	5.000	125.000	3.32	3.601
NO. 6+13.000	8.000	133.000	3.42	3.579
NO. 7	6.886	139.886	3.87	3.582
NO. 7+0.200	0.200	140.200	3.88	3.583
NO. 7+8.000	7.800	148.000	3.63	3.618
NO. 8	12.000	160.000	4.18	3.679
NO. 8+0.200	0.200	160.200	4.13	3.680
NO. 8+6.000	5.624	166.000	3.57	3.674
NO. 8+14.000	8.000	174.000	4.48	3.632
NO. 9	6.000	180.000	4.53	3.596
NO. 9+4.000	3.135	184.000	4.43	3.576
NO. 9+10.000	6.000	190.000	3.68	3.562
NO. 9+10.200	0.200	190.200	3.68	3.563
NO. 10	9.800	200.000	4.03	3.584
NO. 10+12.200	11.017	231.017	3.63	3.708
NO. 11	10.488	220.000	4.11	3.684
NO. 11+12.200	1.183	232.200	3.706	3.706
NO. 12	7.800	240.000	3.56	3.659
NO. 12+16.800	4.279	256.800	3.576	3.576
NO. 13	3.200	260.000	3.25	3.612

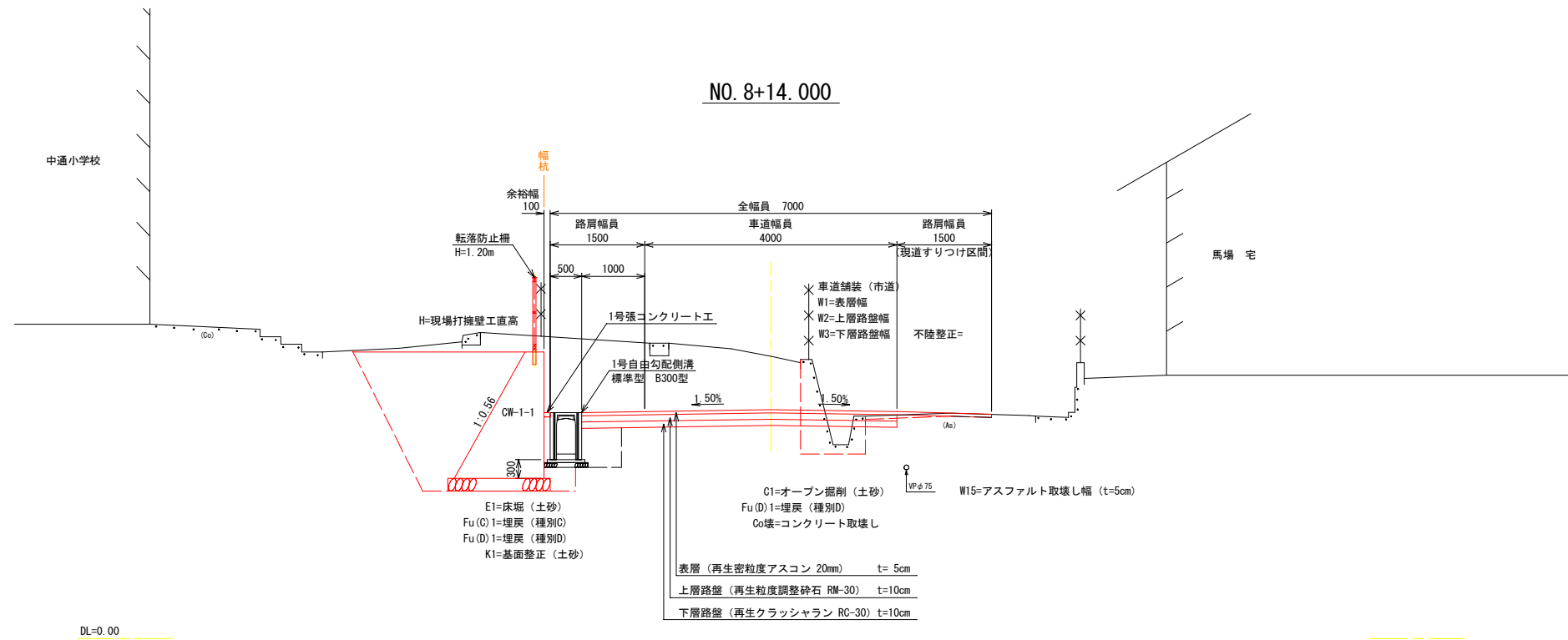
1工区 NO. 3+14.229 工事延長 L=6.777	2工区 NO. 4+13.60 工事延長 L=14.800	3工区 NO. 8+0.200 工事延長 L=11.600	4工区 NO. 9+10.200 工事延長 L=10.000
-------------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------	--------------------------------------

事業名	竹原市建設部建設課施設維持係
委託者	株式会社山陽建設コンサルタンツ
縮尺	V=1:100 H=1:250
図面番号	2
作成年月日	令和 7年 3月
図面名	縦断面図
工事名	市道中通須方線道路改良工事 (R B)

標準横断面図

S=1:50

NO. 8+14.000



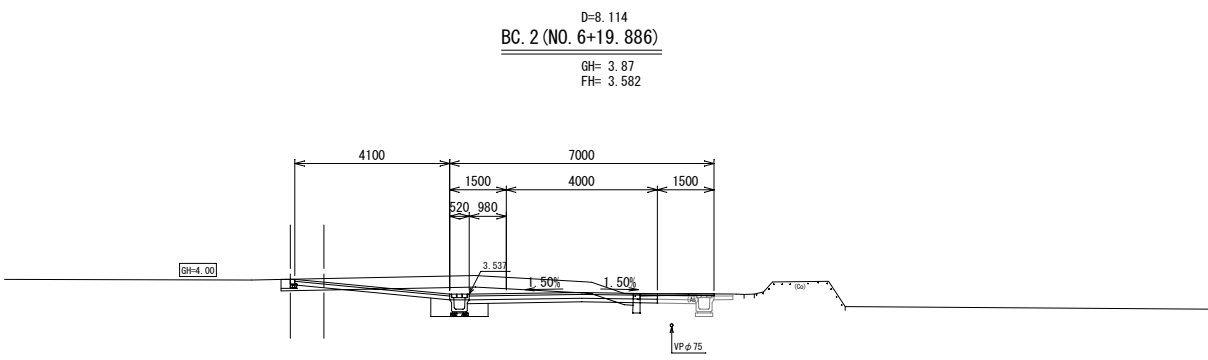
凡例

C	: 掘削 (オープンカット)
C(C)	: 表土すき取り (粘性土)
B1	: 路床盛土 (2.5m未満)
B2	: 路床盛土 (2.5m以上4.0m未満)
B3	: 路床盛土 (4.0m以上)
B4	: 盛土 (小規模)
E	: 床掘
Fu	: 埋戻 (締固め無し)
Fu(A)	: 埋戻 (締固め有り 区分A)
Fu(B)	: 埋戻 (締固め有り 区分B)
Fu(C)	: 埋戻 (締固め有り 区分C)
Fu(D)	: 埋戻 (締固め有り 区分D)
K	: 基面修正
CL	: 切土法面整形
BL	: 盛土法面整形
H	: 現場打擁壁工直高
車道舗装 (市道)・簡易舗装	
W1	: 表層 (再生密粒度As 20)
W2	: 上層路盤 (RM-30)
W3	: 下層路盤 (RC-30)
車道舗装 (国道)	
W4	: 表層 (再生密粒度As 20)
W5	: 基層 (再生粗粒度As 20)
W6	: 上層路盤 (RM-30)
W7	: 下層路盤 (RC-40)
歩道舗装	
W8	: 表層 (再生細粒度As13)
W9	: 路盤 (RC-40)
駐車場舗装・簡易舗装	
W10	: 表層 (再生細粒度As13)
W11	: 路盤 (RC-30)
コンクリート舗装	
W12	: 表層 (コンクリート版)
W13	: 路盤 (RC-30)
構造物取壊し	
W14	: アスファルト取壊し幅 (t=10cm)
W15	: アスファルト取壊し幅 (t=5cm)
W16	: アスファルト取壊し幅 (t=4cm)
W17	: アスファルト取壊し幅 (t=3cm)
Co壊	: コンクリート取壊し
Br壊	: コンクリートブロック取壊し
(土質区分)	1: 土砂, 2: 軟岩 I, 3: 軟岩 II, 4: 中硬岩
	粘: 粘性土
(埋戻区分)	A: W2 ≥ 4.0m, B: W1 ≥ 4.0m, C: 1.0m ≤ W1 < 4.0m, D: W1 < 1.0m

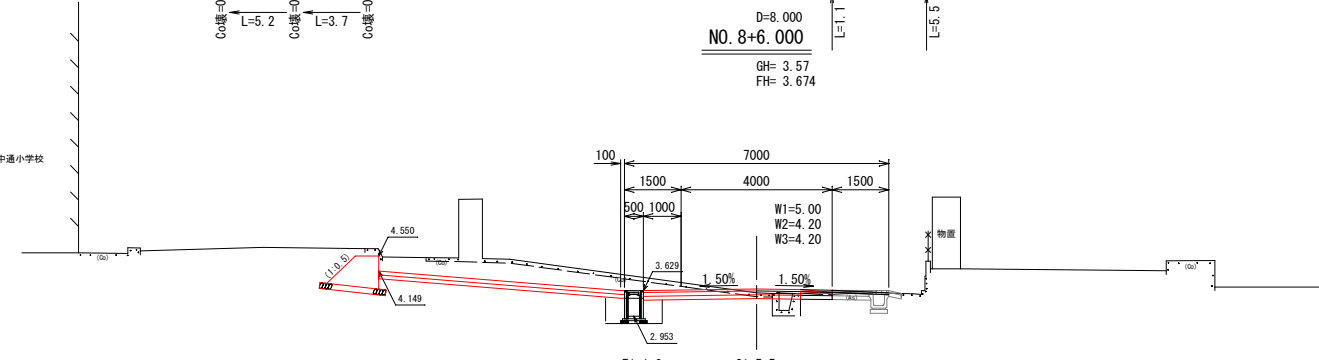
工事名	市道中通須方線道路改良工事 (R8)		
図面名	標準横断面図		
作成年月日	令和7年3月		
縮尺	S=1:50	図面番号	3
会社名	株式会社山陽技術コンサルタント		
事業者名	竹原市建設部建設課建設維持係		

横断面図 (4/7)

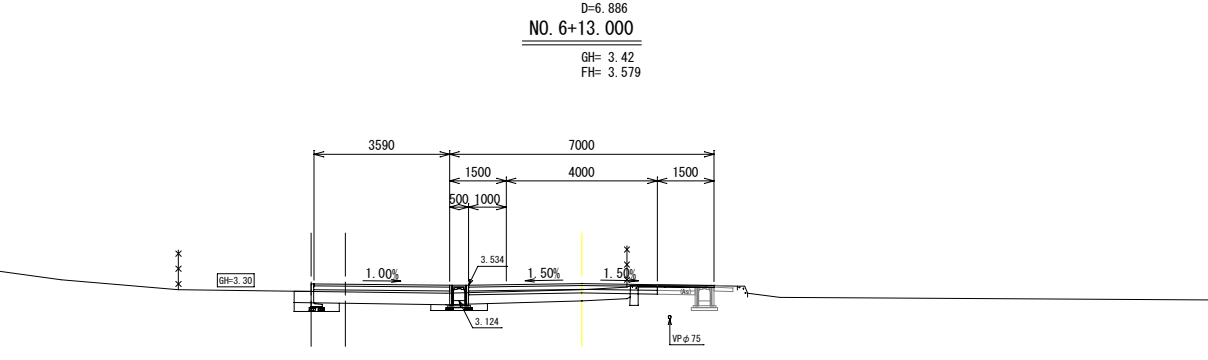
S=1:100



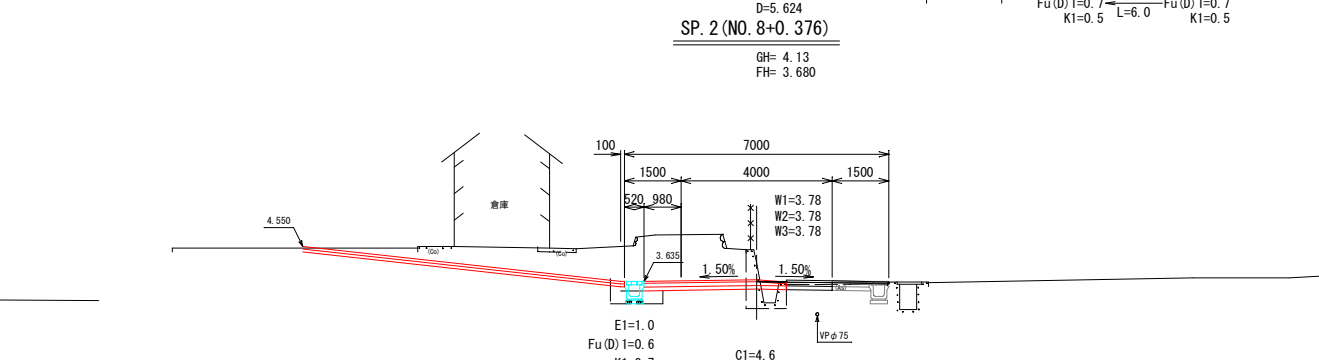
DL=0.00



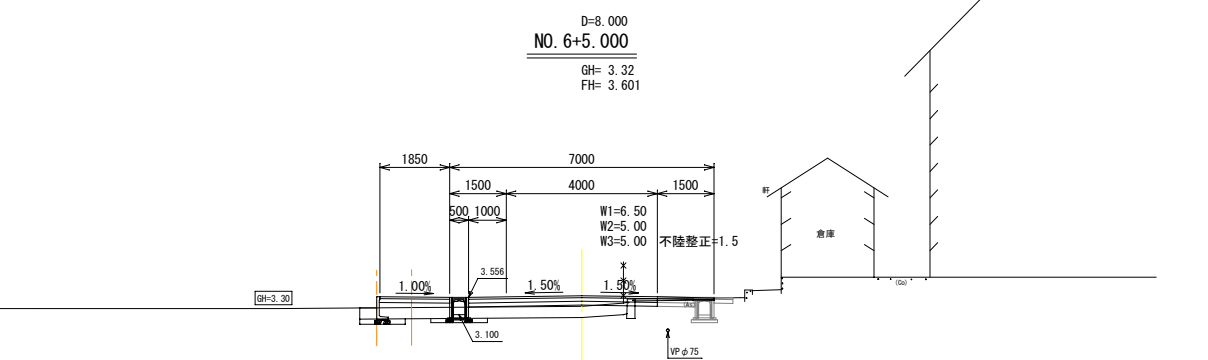
DL=0.00



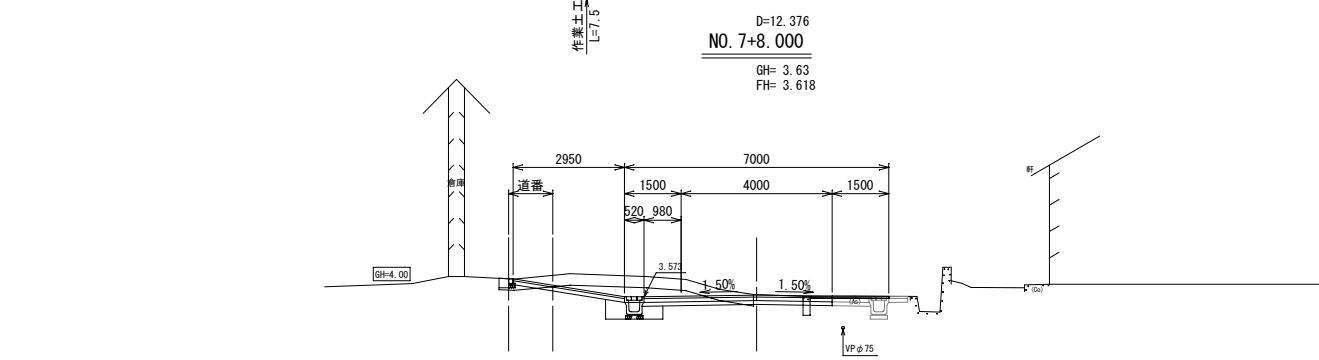
DL=0.00



DL=0.00



DL=0.00



DL=0.00

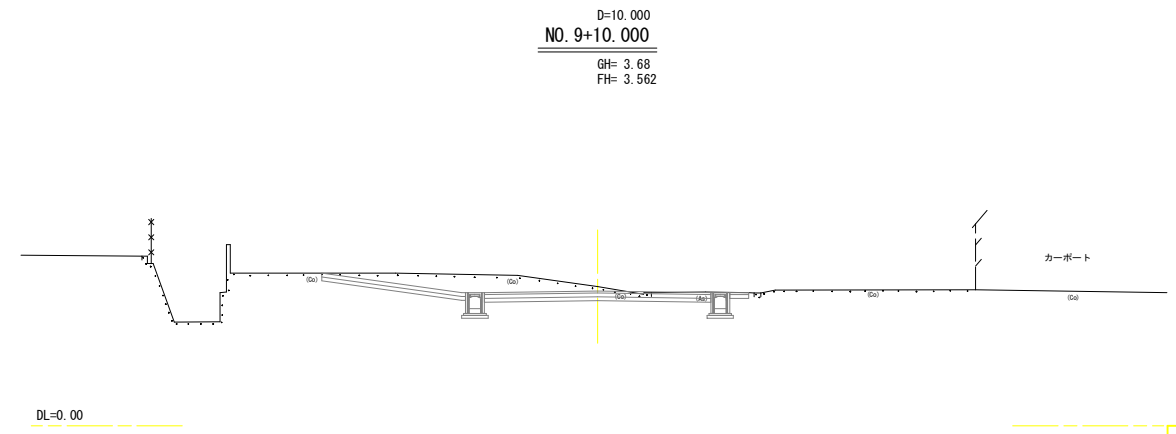
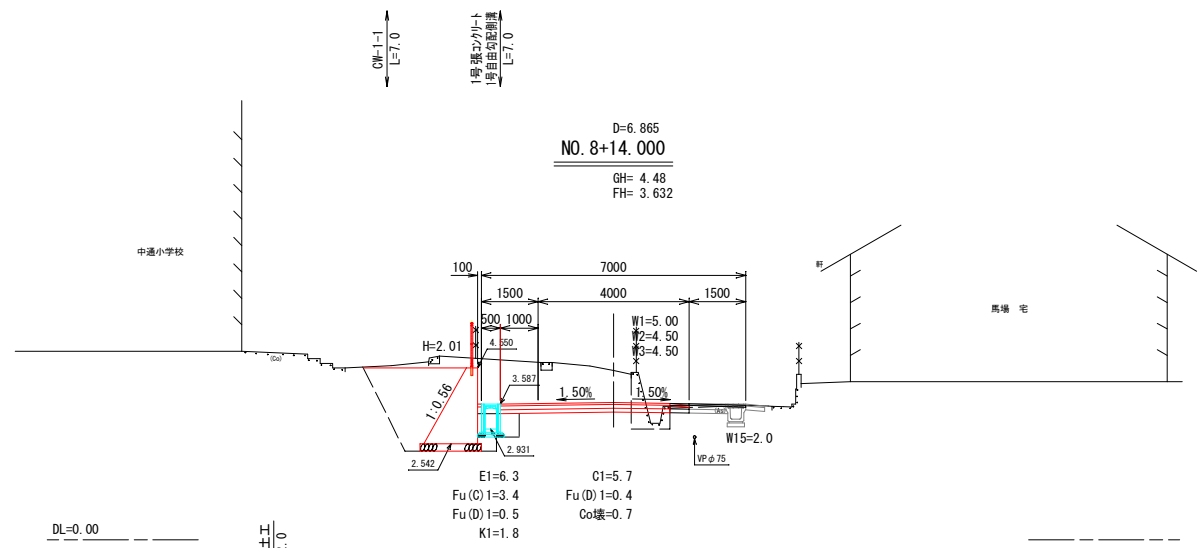
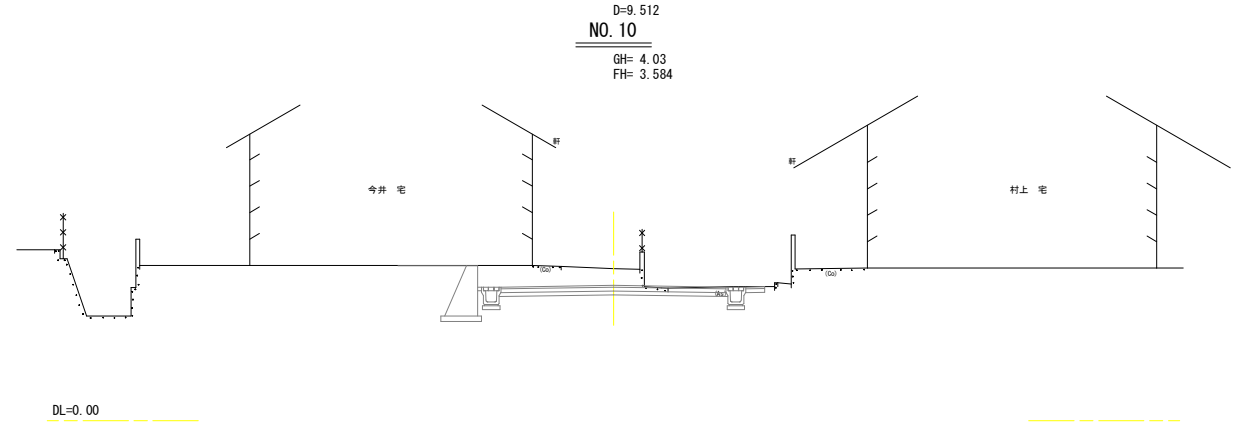
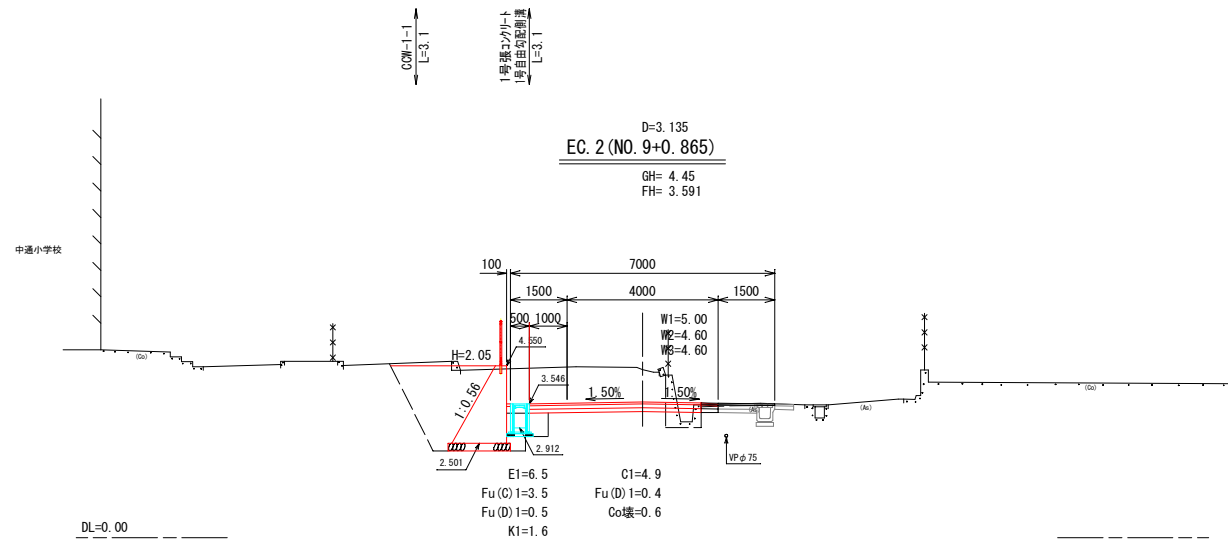
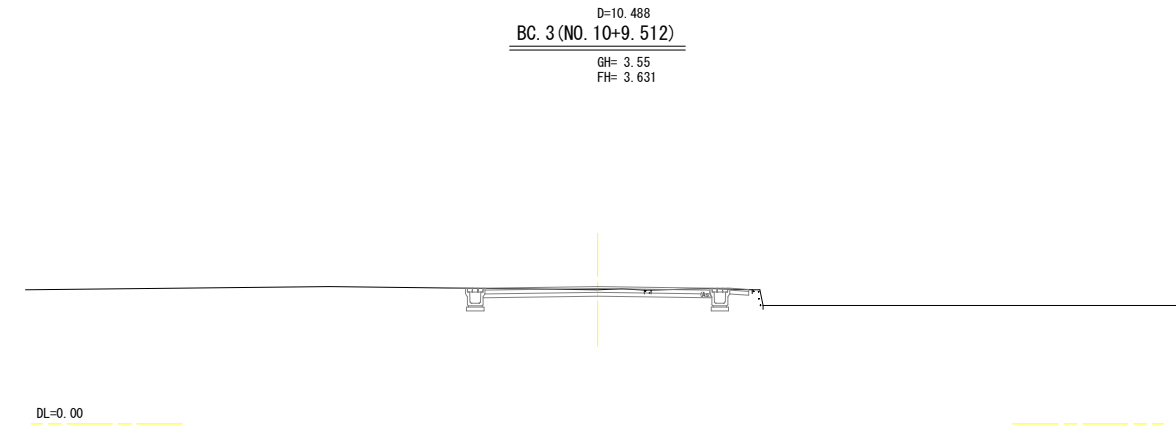
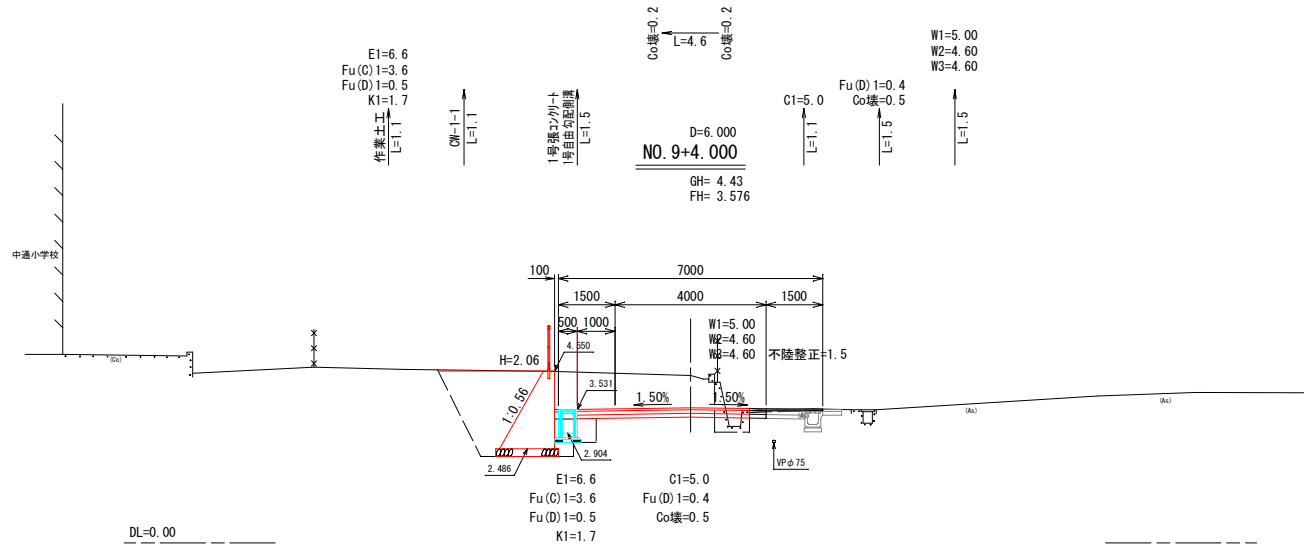
凡例

- C : 掘削 (オープンカット)
 - C(C) : 表土すき取り (粘性土)
 - B1 : 路床盛土 (2.5m未満)
 - B2 : 路床盛土 (2.5m以上4.0m未満)
 - B3 : 路床盛土 (4.0m以上)
 - B4 : 盛土 (小規模)
 - E : 床掘
 - Fu : 埋戻 (締固め無し)
 - Fu(A) : 埋戻 (締固め有り 区分A)
 - Fu(B) : 埋戻 (締固め有り 区分B)
 - Fu(C) : 埋戻 (締固め有り 区分C)
 - Fu(D) : 埋戻 (締固め有り 区分D)
 - K : 基面整正
 - CL : 切土法面整形
 - BL : 盛土法面整形
 - H : 現場打擁壁工直高
 - 車道舗装 (市道)・簡易舗装
 - W1 : 表層 (再生密粒度As 20)
 - W2 : 上層路盤 (RM-30)
 - W3 : 下層路盤 (RC-30)
 - 車道舗装 (国道)
 - W4 : 表層 (再生密粒度As 20)
 - W5 : 基層 (再生粗粒度As 20)
 - W6 : 上層路盤 (RM-30)
 - W7 : 下層路盤 (RC-40)
 - 歩道舗装
 - W8 : 表層 (再生密粒度As13)
 - W9 : 路盤 (RC-40)
 - 駐車場舗装
 - W10 : 表層 (再生密粒度As13)
 - W11 : 路盤 (RC-30)
 - W12 : 表層 (コンクリート版)
 - W13 : 路盤 (RC-30)
 - 構造物取壊し
 - W14 : アスファルト取壊し幅 (t=10cm)
 - W15 : アスファルト取壊し幅 (t=5cm)
 - W16 : アスファルト取壊し幅 (t=4cm)
 - W17 : アスファルト取壊し幅 (t=3cm)
 - Co壊 : コンクリート取壊し
 - Br壊 : コンクリートブロック取壊し
- (土質区分) 1:土砂, 2:軟岩 I, 3:軟岩 II, 4:中硬岩
粘:粘性土
- (埋戻区分) A:W2≧4.0m, B:W1≧4.0m, C:1.0m≦W1<4.0m, D:W1<1.0m

工事名	市道中須方線道路改良工事 (R8)		
図面名	横断面図 (4/7)		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	S=1:100	図面番号	4
会社名	株式会社山陽技術コンサルタント		
事業者名	竹原市建設部建設課建設維持係		

横断面図 (5/7)

S=1:100



E1=1.1 E1=3.3 E1=6.3
Fu(C)1=0.5 作業土 Fu(C)1=2.0 作業土 Fu(C)1=3.4
Fu(D)1=0.3 L=8.0 Fu(D)1=0.3 L=4.1 Fu(D)1=0.5
K1=0.8 K1=1.2 K1=1.8

作業土 L=2.1
1号渠コンクリート L=2.2
1号自由勾配側溝 L=2.7

C1=5.7 Fu(D)1=0.4
Co壊=0.7

C1=7.6

SGW68 L=7.6
SGW68 L=4.4

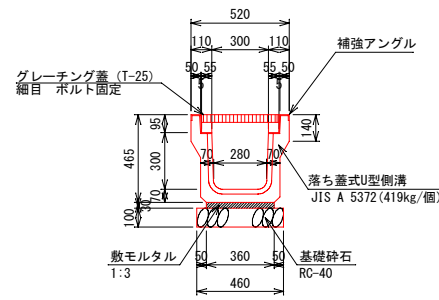
凡例

- C : 掘削 (オープンカット)
 - C(C) : 表土すき取り (粘性土)
 - B1 : 路床盛土 (2.5m未満)
 - B2 : 路床盛土 (2.5m以上4.0m未満)
 - B3 : 路床盛土 (4.0m以上)
 - B4 : 盛土 (小規模)
 - E : 床掘
 - Fu : 埋戻 (締り無し)
 - Fu(A) : 埋戻 (締り有り 区分A)
 - Fu(B) : 埋戻 (締り有り 区分B)
 - Fu(C) : 埋戻 (締り有り 区分C)
 - Fu(D) : 埋戻 (締り有り 区分D)
 - K : 基面修正
 - CL : 切土法面整形
 - BL : 盛土法面整形
 - H : 現場打擁壁工直高
 - 車道舗装 (市道)・簡易舗装
 - W1 : 表層 (再生密粒度As 20)
 - W2 : 上層路盤 (RM-30)
 - W3 : 下層路盤 (RC-30)
 - 車道舗装 (国道)
 - W4 : 表層 (再生密粒度As 20)
 - W5 : 基層 (再生粗粒度As 20)
 - W6 : 上層路盤 (RM-30)
 - W7 : 下層路盤 (RC-40)
 - 歩道舗装
 - W8 : 表層 (再生細粒度As13)
 - W9 : 路盤 (RC-40)
 - 駐車場舗装
 - W10 : 表層 (再生細粒度As13)
 - W11 : 路盤 (RC-30)
 - コンクリート舗装
 - W12 : 表層 (コンクリート版)
 - W13 : 路盤 (RC-30)
 - 構造物取壊し
 - W14 : アスファルト取壊し幅 (t=10cm)
 - W15 : アスファルト取壊し幅 (t=5cm)
 - W16 : アスファルト取壊し幅 (t=4cm)
 - W17 : アスファルト取壊し幅 (t=3cm)
 - Co壊 : コンクリート取壊し
 - Br壊 : コンクリートブロック取壊し
- (土質区分) 1:土砂, 2:軟岩 1
3:軟岩 II, 4:中硬岩
粘:粘性土
- (埋戻区分) A:W2≧4.0m
B:W1≧4.0m
C:1.0m≦W1<4.0m
D:W1<1.0m

工事名	市道中道通方線道路改良工事 (R 8)		
図面名	横断面図 (5/7)		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	S=1:100	図面番号	5
会社名	株式会社山陽技術コンサルタント		
事業者名	竹原市建設部建設課建設維持係		

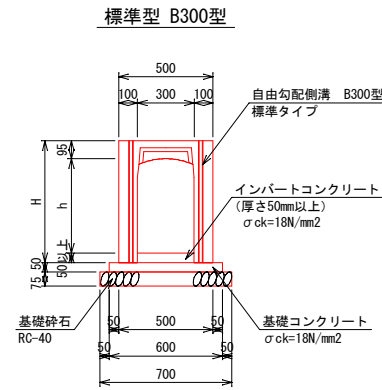
構造図(1/2)

PU3-B300-H300 (横断用)
S=1:20



種別	規格・寸法	単位	数量
U型側溝	PU3-B300-H300	本	5.000
敷モルタル	1:3	m ³	0.108
目地モルタル	1:3	m ³	0.002
基礎砕石	RC-40 t=10cm	m ² m ³	4.600 0.460
グレーチング蓋	T-25(編目)	枚	10.000

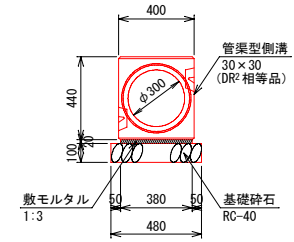
1号自由勾配側溝
S=1:20



種別	規格・寸法	単位	数量
自由勾配側溝	標準型 300型	個	5.000
無騒音蓋	300型	枚	10.000
インバートコンクリート	σ ck=18N/mm ²	m ³	0.150
基礎コンクリート	σ ck=18N/mm ²	m ³	0.300
基礎コン型枠	基礎コン用	m ²	1.000
基礎砕石	RC-40 t=7.5cm	m ² m ³	7.000 0.525

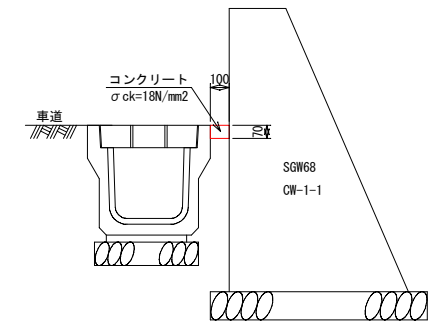
※10.0m毎に1箇所グレーチング蓋を設置すること。

1号管渠工
(管渠型側溝30×30) S=1:20



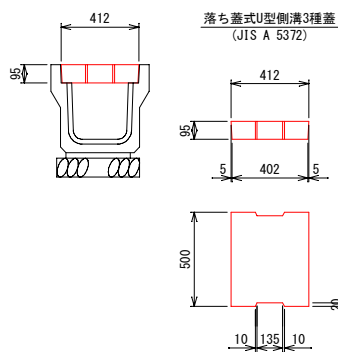
種別	規格・寸法	単位	数量
管渠型側溝	30×30 (DR ² 相等品)	本	5.000
敷モルタル	1:3	m ³	0.076
基礎砕石	RC-40 t=10cm	m ² m ³	4.800 0.480

1号張コンクリート工
S=1:20



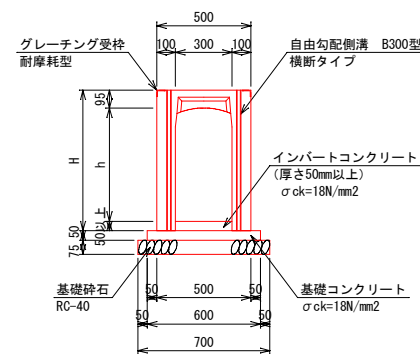
種別	規格・寸法	単位	数量
コンクリート	σ ck=18N/mm ²	m ³	0.070

PC4-B300
(車道用) S=1:20



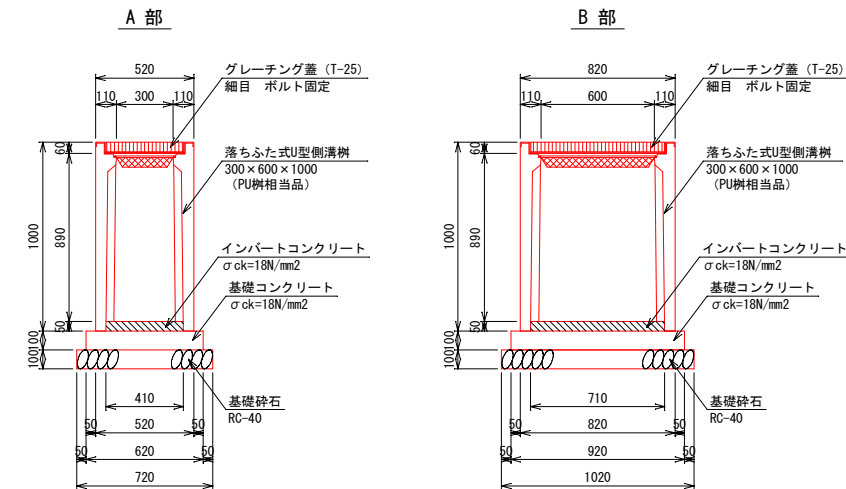
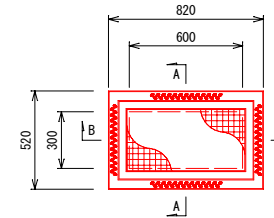
種別	規格・寸法	単位	数量
コンクリート蓋	PC4-B300	枚	20.000

横断用 B300型



種別	規格・寸法	単位	数量
自由勾配側溝	横断用 300型	個	5.000
グレーチング	車道(横断)	枚	10.000
インバートコンクリート	σ ck=18N/mm ²	m ³	0.150
基礎コンクリート	σ ck=18N/mm ²	m ³	0.300
基礎コン型枠	基礎コン用	m ²	1.000
基礎砕石	RC-40 t=7.5cm	m ² m ³	7.000 0.525

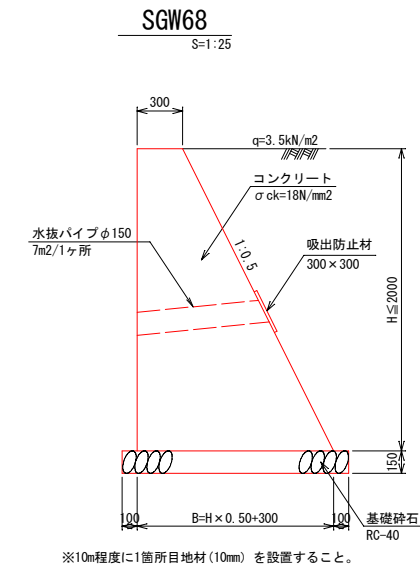
5号集水樹
(300×600×1000) S=1:20



種別	規格・寸法	単位	数量
落ちふた式U型側溝	300×600×1000 (PU樹相当品)	基	1.000
インバートコンクリート	σ ck=18N/mm ²	m ³	0.015
基礎コンクリート	σ ck=18N/mm ²	m ³	0.057
基礎コン型枠	基礎コン用	m ²	0.308
基礎砕石	RC-40 t=10cm	m ² m ³	7.734 0.073
グレーチング蓋	300×600用 編目 ボルト固定	枚	1.000

工事名	市道中通須方線道路改良工事 (R8)		
図面名	構造図 (1/2)		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	6
会社名	株式会社山陽技術コンサルタント		
事業者名	竹原市建設部建設課建設維持係		

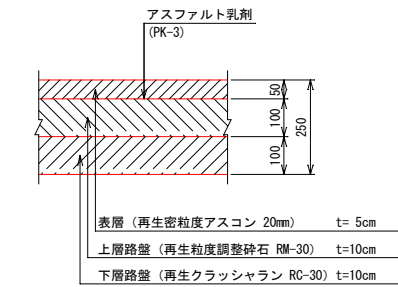
構造図(2/2)



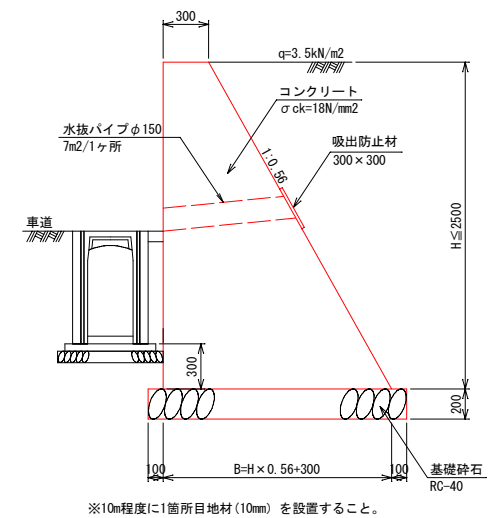
SGW68材料表 1m当り

種別	規格・寸法	単位	算出式
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	$(0.300+B) \times 1/2 \times H \times 1.000$
型枠(一般)	無筋構造物	m ²	$(1.118+1.000) \times H \times 1.000$
基礎砕石	RC-40	m ²	$(B+0.100 \times 2) \times 1.000$
	t=15cm	m ³	$(B+0.100 \times 2) \times 0.150 \times 1.000$

アスファルト舗装 (市道部) S=1:10



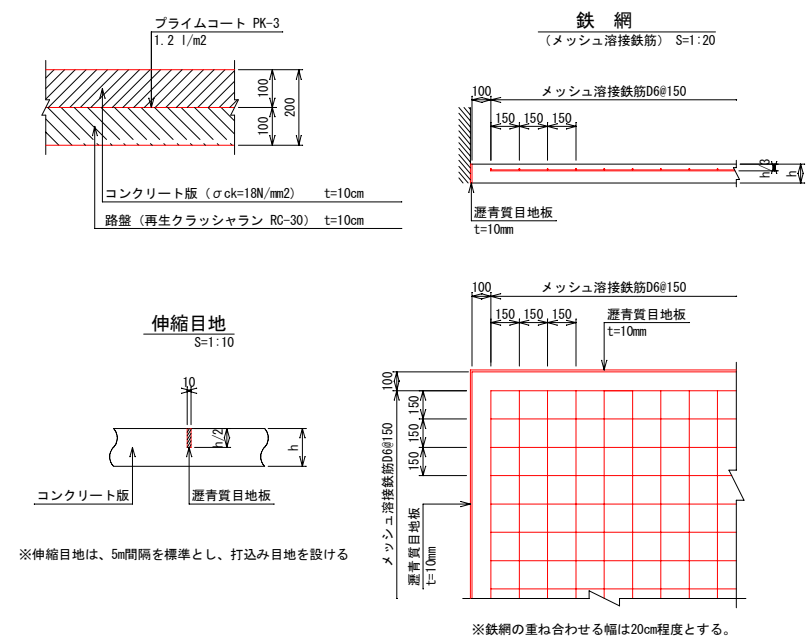
CW-1-1 S=1:25



CW-1-1材料表 1m当り

種別	規格・寸法	単位	算出式
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	$(0.300+B) \times 1/2 \times H \times 1.000$
型枠(一般)	無筋構造物	m ²	$(1.146+1.000) \times H \times 1.000$
基礎砕石	RC-40	m ²	$(B+0.100 \times 2) \times 1.000$
	t=15cm	m ³	$(B+0.100 \times 2) \times 0.200 \times 1.000$

コンクリート舗装 (小学校乗入れ部) S=1:10



鉄網材料表 1m2当り

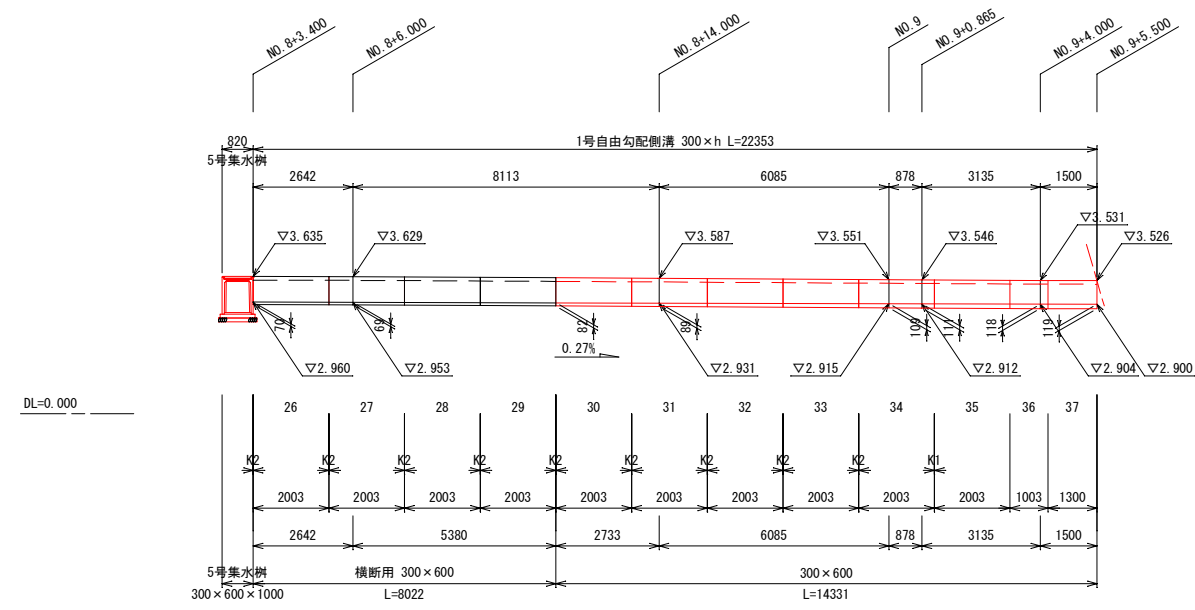
種別	規格・寸法	単位	数量
メッシュ溶接鉄筋	D6 □150×150	kg	3.110

工事名	市道中通須方線道路改良工事 (R8)
図面名	構造図 (2/2)
作成年月日	令和7年3月
縮尺	図示 図面番号 7
会社名	株式会社山陽技術コンサルタント
事業者名	竹原市建設部建設課建設維持係

2工区自由勾配側溝参考割付図 (2/2)

断面割付図 S=1:100

NO. 8+3.400~NO. 9+5.500 (左側)



工事名	市道中通須方線道路改良工事 (R8)		
図面名	2工区自由勾配側溝参考割付図 (2/2)		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	10
会社名	株式会社山陽技術コンサルタント		
事業者名	竹原市建設部建設課建設維持係		